2019(令和元)年度 決算のあらまし

2019(令和元)年度の一般会計および特別会計の決算が、10月7日に市議会で認定されましたので、お知らせします。

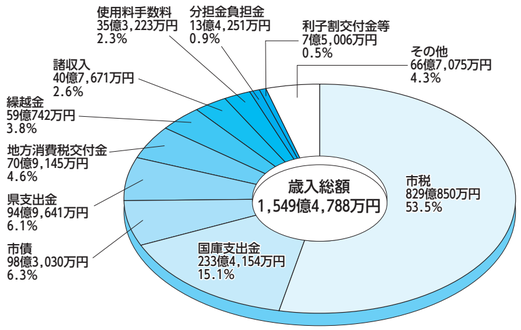
問い合わせ 財政課☎内線2302、FAX(50)8405

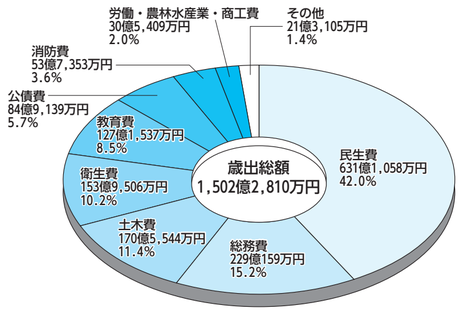
●2019(令和元)年度一般会計決算状況●

一般会計・特別会計とは？

「一般会計」とは、市の予算のうち、福祉・教育・土木など行政運営に必要なお金の会計のことです。

これに対し、国民健康保険事業や下水道事業など特定の事業のお金は「特別会計」として、別に会計しています。





一般会計決算の歳入総額は1,549億4,788万円、歳出総額は1,502億2,810万円で、歳入歳出差引額は47億1,978万円となり、翌年度へ繰り越すべき財源8億734万円を差し引いた実質収支は39億1,244万円となりました。

歳入は前年度より約65億円増加しました

歳入の根幹をなす市税収入は、固定資産税の増などで、総額で829億850万円、前年度に比べ0.4%の増収となり、市税収入以外でも市債や繰入金などが増加となったことなどから、歳入全体では前年度に対し4.4%、64億8,661万円の増加となりました。

※消費税引き上げによる増収分(地方消費税交付金)については、年金・医療・介護・子育て、その他社会保障施策に使われています

歳出は前年度より約77億円増加しました

経費節減に努めながら、市民ニーズに応えるよう子育て支援事業の充実をはじめ、分庁舎や善行市民センターなど公共施設の整備に取り組んだ結果、前年度に対し5.4%、76億7,424万円の増加となりました。

市の借金は全体で約1,395億円です

道路、学校などの公共施設を整備するために、国などから借り入れる資金を市債といいます。

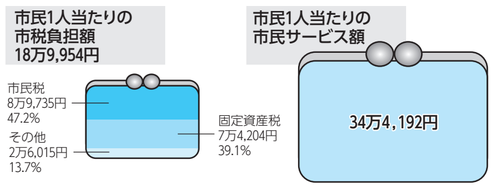
2019年度に借り入れた市債は、一般会計で98億3,030万円、全会計では125億8,620万円です。また、借り入れた市債の年度末残高(元金)は、一般会計で750億6,957万円、全会計では1,395億796万円となり、前年度と比較してそれぞれ32億5,419万円増加、6億1,496万円減少しています。

全会計の市債残高を市民1人当たりにすると、31万9,631円となります。

市の決算を「市民1人当たり」で考えると？ 税金の負担額は約19万円、市民サービス額は約34.4万円です

市税収入総額を人口(2020年3月31日現在436,466人)で割り算すると、市民1人当たりの市税負担額は18万9,954円と算出できます。

また一般会計歳出総額を人口で割り算すると市民1人当たりが受けた市民サービス額は34万4,192円と算出できます。



※その他の主な内訳は都市計画税、市たばこ税、事業所税など

市民1人当たりの予算の使い道(主な内容)

- 議会費(市議会の運営) 1,436円
- 総務費(戸籍・住民・課税事務など市役所の運営) 5万2,470円
- 環境保全費(生活環境・みどり・安全対策・公害防止) 3,446円
- 民生費(児童・高齢者・障がい者の福祉) 14万4,595円
- 衛生費(健康の維持増進、保健所の運営、ごみ処理) 3万5,272円
- 労働費(勤労者福祉、就労支援) 921円
- 農林水産業費(都市農業・水産業の振興) 1,079円
- 商工費(商工業・観光の振興) 4,998円
- 土木費(都市計画、道路・公園整備、住宅) 3万9,076円
- 消防費(消防・救急活動) 1万2,311円
- 教育費(学校・社会教育、スポーツ振興) 2万9,133円
- 公債費(市債の償還) 1万9,455円

※数値については、その積み上げと合計が一致しない場合があります
※基金などその他決算の詳細は市のホームページの財政課のページをご覧ください
※今年度も本市の財政状況を分かりやすく解説した「わかりやすい藤沢市の財政」を作成する予定です

藤沢市の財政を家計に例えると

一般会計決算の規模を家庭の家計簿に当てはめてみました。年収を500万円とすると…

【収　入】	
給料(市税収入など)	338万円
住宅ローン借入(市債借入)	33万円
その他臨時収入(国庫・県支出金など)	129万円
【支　出】	
日常の生活費(人件費・扶助費・物件費など)	394万円
住宅ローン返済(公債費)	28万円
家財購入・修繕(投資的経費など)	66万円
貯金(積立金)	12万円

家庭の家計簿と市の財政では、お金の使い道が違うので単純に比べられませんが、一般会計決算を家計に例えると、年間500万円の支出のうち、日常の生活費に394万円、住宅ローン返済に28万円を充てていることになります。

このような事業に重点的に取り組みました

2019年度に実施した主な事業(継続事業を含む)は次の通りです

総務費

	事業費
◇市役所分庁舎の整備工事などを実施	36億6,432万円
◇善行市民センター・公民館の改築工事などを実施	12億7,601万円
◇防災備蓄資機材の増強、花ノ木公園に耐震性飲料用貯水槽を整備、洪水ハザードマップの改定に向けた河川測量および流出解析などを実施	2億2,986万円

環境保全費

◇街頭防犯カメラを辻堂駅南口に設置、自治会・町内会による防犯カメラ設置費に対する補助を実施	839万円

民生費・衛生費

◇生活困窮者に対する各種支援事業を行う中で、新たに一時生活支援事業を県ほか2市と共同で実施	4,892万円
◇コミュニティソーシャルワーカーを11地区に配置拡充	8,414万円
◇通院に係る小児医療費助成の対象年齢を中学3年生まで拡大	1億4,834万円
◇保育士宿舎の借り上げなど各種補助事業を拡充し、保育士の市内施設への就職や離職防止についての取り組みを実施	2,710万円
◇待機児童への対応および保育所の再整備を進めるため、認可保育所などの施設整備に補助金を交付	9億292万円
◇定員拡大に向け、放課後児童クラブの新設と移転拡充を実施	2億4,038万円
◇「ふじさわ夢チャレンジ2020」事業を実施し、市民一人一人が楽しく気軽に健康づくりに取り組むきっかけを提供	814万円
◇各種がん検診の実施、肺がん・胃がん・乳がん検診の二次読影のデジタル化を導入	6億3,870万円
◇片瀬東浜公衆便所の洋式化およびバリアフリー化を実施	4,403万円

労働費

◇若者しごと応援塾「ユースワークふじさわ」の運営など	2,853万円

農林水産業費・商工費

	事業費
◇市内養豚農家に対して、野生動物侵入防止用防護柵の設置助成を実施	214万円
◇生活支援ロボットの普及啓発やロボット産業への参入支援など	3,148万円
◇商店街の防犯カメラ・街路灯の設置・改修・修繕費用の一部を助成	1,481万円
◇クラウドファンディングを活用した江の島周辺の観光案内サインを設置	6,087万円

土木費

◇木造住宅、分譲マンションおよび緊急輸送道路沿道建築物所有者を対象に、既存建築物の耐震診断に対する補助などを実施	2,786万円
◇善行駅周辺地区のバリアフリー化を推進	2億7,938万円
◇新屋敷橋の耐震化工事および大庭大橋ほか12橋の補修工事などを実施	4億2,712万円
◇健康と文化の森地区の浸水対策として雨水調整施設の整備などを実施	4,649万円
◇藤沢駅北口デッキリニューアル工事の完成、藤沢駅北口交通広場再整備工事の実施、藤沢駅南北自由通路の拡幅に向けた基本設計の推進	13億4,822万円

消防費

◇消防指令システム一部更新および聴覚・言語などに障がいのある方が消防への通報を円滑に行えるように、Net119緊急通報システムを新規導入	4億4,330万円

教育費

◇無線LANの整備、児童生徒の学習用端末やプロジェクターなどを整備	4億459万円
◇市立小・中学校全校の普通教室の空調整備を実施	7,483万円
◇配膳室整備などを行い中学校給食を市内19校全校で実施	2億4,600万円
◇姉妹友好都市との交流展や市内大学との連携事業による展覧会など	6,899万円

東京2020大会に向けて

◇カウントダウンイベントやオリンピアン・パラリンピアンを招いたスポーツ教室、セーリング競技の普及啓発イベントなど	3,015万円
◇都市ボランティア「シティキャストフジサワ」の募集・研修、「2020応援団 藤沢ビッグウェーブ」の活動など、市民参加型大会の実現に向けた取り組みを実施	2,797万円

●2019(令和元)年度特別会計決算状況●

特別会計の歳入歳出決算状況

			歳入 収入済額A	歳出 支出済額B	繰越財源C	実質収支額 A－B－C
特別会計	北部第二(三地区)土地区画整理事業費		34億807万円	28億4,558万円	4,972万円	5億1,277万円
	墓園事業費		6億2,830万円	5億6,020万円	0	6,810万円
	国民健康保険事業費		392億6,207万円	384億8,257万円	0	7億7,950万円
	湘南台駐車場事業費		5,998万円	5,998万円	0	0
	介護保険事業費		291億5,556万円	289億7,947万円	0	1億7,609万円
	後期高齢者医療事業費		59億6,306万円	58億2,595万円	0	1億3,711万円
	下水道事業費(公営企業会計)	収益	125億4,933万円	121億2,958万円	―	―
		資本	25億3,294万円	66億3,283万円	―	―
	市民病院事業(公営企業会計)	収益	196億8,602万円	207億　256万円	―	―
		資本	4億3,998万円	14億　762万円	―	―

※地方公営企業法が適用される下水道と市民病院の2つの公営企業会計では、施設整備などの財源として表に示した収入以外に減価償却などに伴い発生した資金を充当しています

●●●●●主な特別会計の決算概要●●●●●

2019(令和元)年度の特別会計は8会計ありますが、市民の皆さんに関わりの深い4会計の決算概要をお知らせします。

国民健康保険事業

被保険者の疾病・負傷・出産などに対する保険給付費は前年度より0.01%、約240万円の減少となりました。歳入に占める保険料収入の割合は22.2%で、保険給付費総額を年間平均被保険者1人当たりで見ると約29万6,000円でした。

保険給付費	254億1,870万円
国民健康保険事業費納付金	122億2,436万円
総務費ほか	8億3,951万円
歳出合計	**384億8,257万円**
国民健康保険料	87億1,703万円
国庫・県支出金	260億　185万円
繰入金ほか	45億4,319万円
歳入合計	**392億6,207万円**

介護保険事業

介護認定を受けた方が利用した介護サービスに対する保険給付費は前年度より5.0%、約12億3,000万円の増加となりました。2020年3月31日現在で要支援・要介護認定を受けた方は2万26人となっています。歳入に占める保険料収入の割合は20.9%でした。

保険給付費	260億　774万円
地域支援事業費	19億7,321万円
総務費ほか	9億9,852万円
歳出合計	**289億7,947万円**
介護保険料	60億9,783万円
国庫・県支出金	102億3,040万円
交付金・繰入金ほか	128億2,733万円
歳入合計	**291億5,556万円**

下水道事業(公営企業会計)

区画整理事業区域などの整備を進め延長2,156.58mの管渠を築造したほか、村岡ポンプ場送排風機更新工事などを行いました。年度末の下水道処理人口普及率は95.8%となりました。

建設費	21億4,305万円
企業債償還金および利息	54億7,967万円
維持管理費ほか	111億3,969万円
支出合計	**187億6,241万円**
下水道使用料	62億2,993万円
国庫補助金	5億4,941万円
繰入金・企業債ほか	83億　293万円
収入合計	**150億8,227万円**

市民病院事業(公営企業会計)

地域の基幹病院として市民が安心して受けられる医療の提供に努め、入院患者数は延べ17万902人、外来患者数は延べ31万7,946人となりました。施設整備面では手術支援ロボットや移動型透視用X線装置などを購入しました。また、産婦人科におけるLDR室(陣痛分娩室)の整備を行い、妊婦の負担の軽減を図り、家族とともに安心して出産することができる環境を提供しました。

医業費用	200億7,606万円
資本的支出	14億　762万円
医業外費用ほか	6億2,650万円
支出合計	**221億1,018万円**
入院収益	121億5,507万円
外来収益	53億8,280万円
繰入金・その他医業収入ほか	25億8,813万円
収入合計	**201億2,600万円**